

宛先

和歌山県精神保健福祉センター 行

TEL (073)435-5194

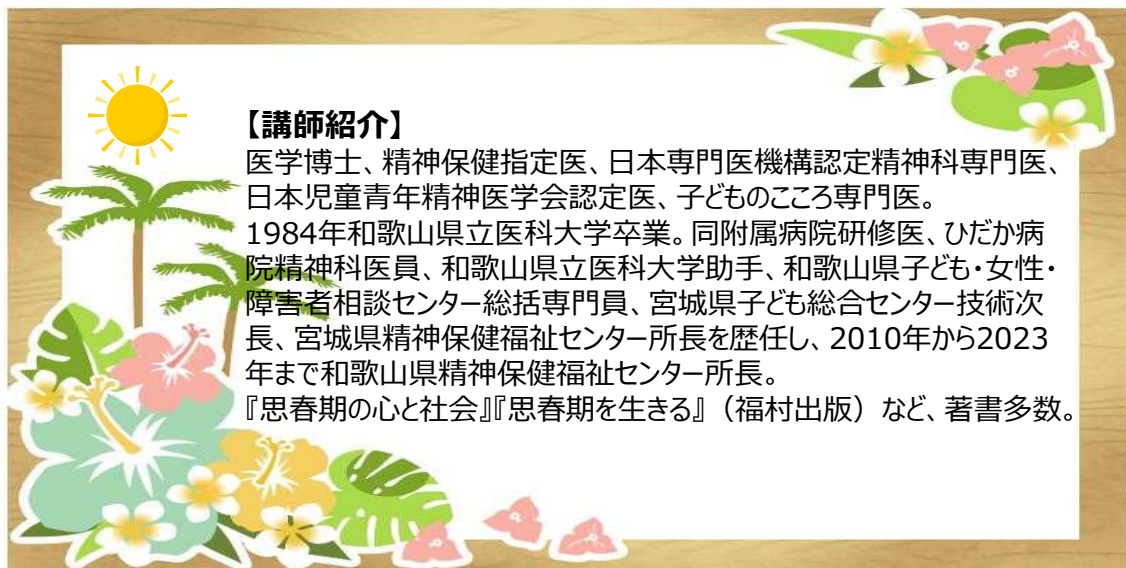
FAX (073)435-5193

e-mail:e0503011@pref.Wakayama.lg.jp

申込締切：令和5年7月21日（金）

申込日 R5年 月 日

(ふりがな) 氏名		年齢		歳
連絡先（所属）	所属			
	電話		職種	
mailアドレス				
ご質問等				



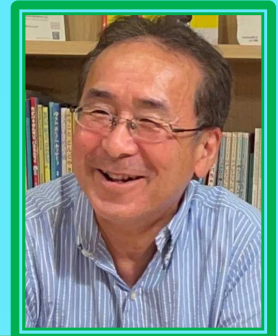
【講師紹介】
医学博士、精神保健指定医、日本専門医機構認定精神科専門医、日本児童青年精神医学会認定医、子どものこころ専門医。
1984年和歌山県立医科大学卒業。同附属病院研修医、ひだか病院精神科医員、和歌山県立医科大学助手、和歌山県子ども・女性・障害者相談センター総括専門員、宮城県子ども総合センター技術次長、宮城県精神保健福祉センター所長を歴任し、2010年から2023年まで和歌山県精神保健福祉センター所長。
『思春期の心と社会』『思春期を生きる』（福村出版）など、著書多数。

令和5年度思春期セミナーのご案内

講演「思春期の発達課題とメンタルヘルス」



講師 児童精神科医 小野 善郎 氏
前和歌山県精神保健福祉センター所長



子どもから大人へと「変身」していく思春期は、常識的な考え方や価値観の枠組みに収まらない、人生の特別な時期でもあります。そんな型破りの思春期の発想や行動は、現在の精神疾患の診断基準を適用すれば、すべて「病気」ということになりかねません。メンタルヘルスへの関心が高まった結果、思春期の問題はさまざまな「病名」が付けられて精神科医療の対象となり、より専門的な支援につなげようとする傾向が広がりつつあります。思春期のメンタルヘルスが重要であることは間違いありませんが、ただ単に精神疾患の知識だけで理解して対応するだけでは不十分であるばかりか、治療的な対応に偏り、発達プロセスを必要以上に修正して歪めてしまうことにもなりかねません。思春期の心の健康を守るために、まずは思春期という「特別な期間」について理解を深め、その上でどんな支援が求められるのかを考えてみます。

日時 令和5年7月31日（月）13:30～15:00（開場13:00）

会場 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 2階201会議室
（和歌山市手平2丁目1-2）

対象 思春期支援に携わる方及び興味のある方はどなたでも参加できます

定員 50名

参加費 無料（事前のお申し込みが必要）

お申込み・お問い合わせ

7月21日（金）までにFAXまたはe-mailでお申込みください。

和歌山県精神保健福祉センター e-mail:e0503011@pref.wakayama.lg.jp

FAX：（073）435-5193 裏面 申込書

当日は検温など御協力いただき、体調不良等のある場合は参加を見合わせてください。

和歌山県精神保健福祉センター 電話（073）435-5194

（和歌山市手平2丁目1-2 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 2階）

